

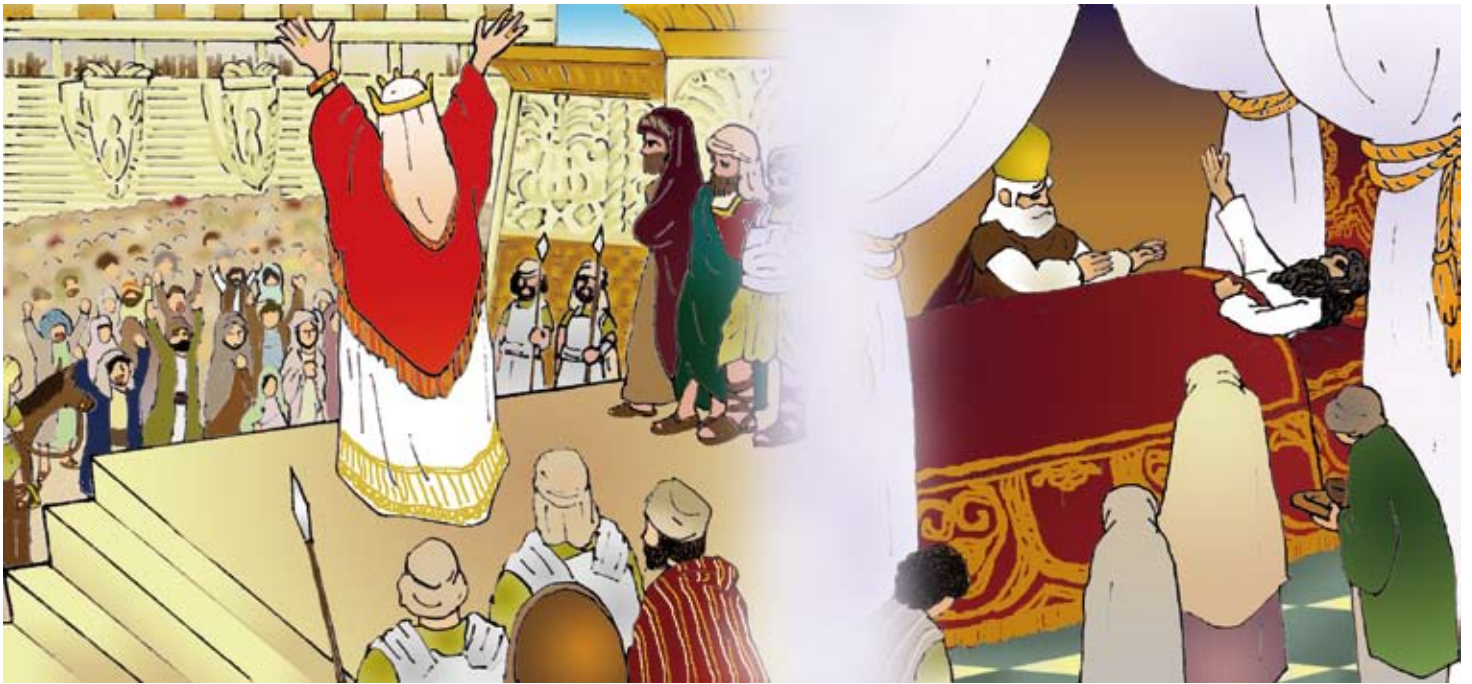
ふく いん しん ぶん
福音新聞

Good
News
2017
Autumn



発行：犬山恵みキリスト教会 ホームページ：<http://www.tsukuno.com/inuyama/>

『空の空。伝道者は言う。空の空。すべては空。日の下で、
どんなに労苦しても、それが人に何の益になろう。』（聖書）



「なんと、すべてが
むなしいことよ。」

今から約3千年前、イスラエルの国に、栄華を極めていたソロモン王という人がいました。彼の言葉が伝道者の書(旧約聖書)に記されています。『私は、私の目の欲するものは何でも拒まず、心のおもむくままに、あらゆる楽しみをした。実に私の心はどんな労苦をも喜んだ。これが、私のすべての労苦による私の受ける分であった。』彼は様々なことを行って充実した人生を歩んだかに見えましたが、晩年、『人は長年生きて、ずっと楽しむがよい。だが、やみの日も数多くあることを忘れてはならない。すべて起こることはみな、むなしい。…だから、あなたの心から悲しみを除き、あなたの肉体から痛みを取り去れ。若さも、青春も、むなしいからだ。』と告白しました。彼は、人生には必ず終わりが来て、最後には何もかも失われてしまうので、『むなしい』と語ったのです。

「あなたの創造者を覚えよ」

それはソロモン王に限らず、全ての人に共通して言えることです。どんなに華やかな人生を歩んだとしても、いつか終わりが来ます。しかも、その晩年は決して、今までよりも輝かしく、明るいものではありません。彼は、人生の終焉を迎えた人の衰えた姿について記しています。目はかすみ、ぼやけて見え、歯は震えるようになり、腰は曲がり、耳は遠くなり、はつきりと聞こえなくなってしまう、ついには命に関わる異変が体に生じ、死に至ってしまい、体はちりに帰ると記しています。それは誰もが通らなければならぬ過程です。しかし彼は、何もかも失ってただ朽ちていくだけのむなししい人生で終わらないために、素晴らしい秘訣を記しています。『あなたの若い日に、あなたの創造者を覚

えよ。わざわいの日が来ないうちに、また「何の喜びもない」と言う年月が近づく前に。』つまり、全ての人を創造され、目的をもって生かしておられる真の神を恐れ敬うことです。

すべてのわざをさばかれる神

真の神は、人間を創造され、生きていくために必要なものを全て備えてくださいました。だから私たちは、空気を吸い、水を飲み、海や大地から得られるものを食して生きていくのです。そして神は、ただ人間を生かしておられるのではなく、ご自身の愛を注がれ、それに人間が応えて生き、いつまでも共に生きる者とされました。ところが人間は、神を無視しているために生きる目的を見失い、かつてのソロモン王のように、この世の様々なもので自分を満足させるためにしか

生きられない者となってしまいます。その生き方は、ひと時において満足を得られるかもしれません。しかし、必ず終わりが来ます。聖書には『そして、人間には、一度死ぬことと死後にさばきを受けることが定まっている』と書かれています。人間は死を迎えた時、消えてなくなるのではなく、死後、さばきの場所で永遠に存在し続けるのです。それは火の燃え続ける地獄です。人間は神の御前においてさばかれなければならない罪人です。『それは、次のように書いてあるとおります。「義人はいない。ひとりもない。悟りのある人はいない。神を求める人はいない。すべての人が迷い出て、みな、ともに無益な者となった。善を行う人はいない。ひとりもない。」「彼らののは、開いた墓であり、彼らはそ

の舌で欺く。「彼らのくちびるの下には、まむしの毒があり、「彼らの口は、のろいと苦さで満ちている。「彼らの足は血を流すのに速く、彼らの道には破壊と悲惨がある。また、彼らは平和の道を知らない。「彼らの目の前には、神に對する恐れがない。」(聖書)神は義なる方ですので、罪人をそのまま受け入れることはおできになりません。

愛なる神の遣わされた救い主

創造主なる神は、私たちを愛するが故に、神の御子であられるイエス・キリストをこの世に救い主として遣わしてくださいました。キリストは人となられ、罪人のために十字架上でさばきを受けられ、死なれました。それは私たちの罪を全て、赦すためでした。そしてキリストは死後三日目に、葬られた墓の中よりよみがえられました。その御姿を弟子たちの前に何度も現わされ、よみがえられてから40日後に天の御国に行かれました。その後、弟子たちは命を懸けてイエス・キリストが救い主であることを宣べ伝えたのです。誰でもイエス・キリストを救い主として信じる人は、全ての罪が赦され、死後、永遠の地獄に行くことなく、永遠の天の御国に行けるのです。

「これが人間にとってすべてである」

ソロモン王は書簡の最後で

『結局のところ、もうすべてが聞かされていることだ。神を恐れよ。神の命令を守れ。これが人間にとってすべてである。神は、善であれ悪であれ、すべての隠れたことについて、すべてのわざをさばかれるからだ。』と記しています。多くの知恵と知識を得、様々な経験をした彼が出した人生の結論でした。ですので、真の神から遠く離れたむなし生涯で一生を終えるのではなく、人間の創造主であられる神を恐れ敬い、この御方の遣わされた救い主であるイエス・キリストを信じ受け入れられることをお勧め致します。



☆『聖書講演会』のお知らせ☆

9/22 (金) PM 7時30分 犬山国際観光センター 「フロイデ」会議室 2

9/23 (土) PM 2時00分 犬山国際観光センター
PM 7時30分 「フロイデ」研修室 1

9/24 (日) AM 10時30分 犬山恵みキリスト教会
PM 2時00分

各回託児を用意しています。お子様がおられる方も遠慮なくお越しください。参加費などは一切必要ありません。駐車場もありますのでお車でどうぞ。



定例集会案内

お気軽にお越し下さい。

- ◎日曜日
教会学校 AM 9:30
礼拝 AM10:30
聖書の学び PM 1:00
- ◎水曜日
祈り会 PM 7:30
- ◎木曜日
婦人会 AM10:30
- ◎土曜日
聖書の学び PM3:30

犬山恵みキリスト教会

牧師 畑川 洋一郎 副牧師 矢下 充啓

〒484-0061 犬山市前原向屋敷95-135

TEL (0568) 55-5906



※ 当教会は、エホバの証人（ものみの塔）、統一協会（原理研）、末日聖徒キリスト教会（モルモン教）などとは違い、聖書そのものを学ぶキリスト教会です。尚、これらの団体でお悩みの方、違いをお知りになりたい方は、是非ご連絡下さい。